

## 善行・環境衛生表彰

6月5日(土)、市民館ホールで開かれた第28回徳山をよくする会「小さな親切運動」徳山支部総会の席上、大津島関係で次の方々が表彰されました。

石丸フサエ 多年にわたり公共地の清掃

高松悦子 平成5年3月3日細折沖で遭難の福漁丸船長を無事救出した。

中野悦男 同上

坪井昭生 同上

安達キヨミ 多年にわたり病床の夫を看病

6月7日(月)、アド・ホックホテル丸福で開催された徳山市環境衛生連合会総会の席上、天浦の二十日会が環境衛生功労者として表彰されました。

## 老人大学

7月9日(金)大津公民館で社会福祉協議会の主催による老人大学が開催されます。講師は井筒美代子さんで「歌心・声高らかに」が予定されています。会場への送迎・昼食の用意もされますので是非受講して下さい。

## 海水浴場開き

徳山市唯一の海水浴場である刈尾海水浴場開きが、7月17日(土)に現地で行われます。昨年はサメ騒動等で利用客の減少をみましたが、今年こそはと開設運営委員会では準備にも力が入っています。

## 衆議院議員選挙

衆議院の解散にともない、7月18日(日)に総選挙が行われます。私たちの代表者を国会に送る大切な選挙です、有権者の方は洩れなく投票をいたしましょう。選挙当日やむを得ず投票に行けない人は、不在者投票制度をご利用下さい。

詳しいことは、市役所支所☎85-2001へお尋ね下さい。

編集日より

必ず読んで下さい。♡

毎月一回お届け出来るように頑張ります。

楽しい紙面にしたいと思います。

投稿、ご意見等お寄せ下さい。

※各家庭から島の外に出ている方々に本紙を送ってあげようと思われる方は、コミュニティ事務局にお申し出下さい。

# 潮流

第 4 号

平成5年7月5日発行

大津島地区コミュニティ推進協議会

## 家庭ゴミの出し方についてのお願い

徳山市は、7月からゴミの減量化と再資源化を進めるために、ゴミの収集体制を「燃やせるゴミ」と「燃やせないゴミ」の二種分別から、今後は「資源ゴミ」を加えた三種分別で進めることになりました。

従って大津島地区のゴミ収集の日(注、9月まで)は、次のようになります。

ゴミの種類	収集日
燃やせるゴミ	毎週月・木曜日
資源ゴミ	毎月第2・4水曜日
燃やせないゴミ	毎月第1・3・5水曜日

※ 燃やせるゴミの中にプラスチック類等の燃やせないゴミを混ぜますと、焼却炉を傷めたり処理効率を落としますので入れないように注意してください。

詳しくは、市から各家庭に配付された「家庭ゴミの正しい出し方」を読み、間違いのないようご協力をお願いします。

又、ゴミ対策を円滑に進めるため市では「クリーンとくやま推進員」制度を設け、6月24日(木)辞令交付と研修会を行い任務を遂行するよう指導し、これを受けて大津島地区推進員は、6月30日(水)支所に集い指導徹底方法等について打合せ会を開き研修を重ねました。

◎大津島地区のクリーンとくやま推進員は次の皆さんです。皆さんのご協力を宜しくお願いします。(敬称略)

近・瀬 安部 光一 馬島 石丸 適(支部推)  
刈尾 石田 久子 馬島 古城 唯夫  
本浦 御手洗 昭光 柳浦 坪井 政江  
天浦 安達 雪夫

## ふれあい食事会、巡回ふれあい公演

6月24日(木) 大津島中学校では、学校給食の現状と理解を深めてもらおうと親子ふれあい給食会を実施しました。これは、学校と家庭が協力しあって、食生活の見直し・より良い食習慣を身につけてもらう為にひらかれたものです。父兄や一般の参加者には、学校給食を食べるのが何十年ぶりという人が多く、自身の中学校時代にはまだ行われていなかった事を思い出し感慨深いものがあったようでした。



その後、大津島中体育館で大津島小の児童も加わって、感動体験学習の一環としてリコーダーコンサートが行われました。このコンサートは、優れた芸術を直接に鑑賞する機会を与えることにより、子供たちの心の中に豊かな感性・情操として定着を図るものです。

コンサートは、リコーダーの吉沢 実・ギター中根康美さんの演奏によりグリーンスリーブスで始まり、曲が進につれ児童・生徒達は徐々にリラックスしていき、ドレミの歌を楽器に合わせて歌ったり、楽器の演奏をさせてもらうなどして一流のナマの演奏を心ゆく迄楽しみ深い感動を受けたようです。



## 草刈り奉仕作業

6月6日(日)、交通安全協会大津島支部では会員による市道等の草刈り奉仕作業を早朝より行いました。春の間に伸びた草で見通しが悪くなっていた道路も作業終了後は見違える様に綺麗になりました。会員の皆さんご苦労様でした。

## 観音堂の完成

6月26日(土)、天浦で観音堂の新築工事が完了し、天浦地区総出でお祝いとそのお披露目が行われました。

## 介護教室

6月17日(木)、大津公民館で在宅老人お世話教室が開催されました。高齢化社会となっている大津島地区では、家族の世話を受けながら生活しているお年寄りが年々増えており、家族の介護負担も並大抵ではないと思われます。そこで心身障害老人を毎日お世話している在宅老人サービスセンターの寮母山田定子さんを講師に迎え、介護のコツ、要領を学ぶことになったものです。教室は四回シリーズで6月～9月の第三木曜日に開かれます。定員に少し余裕が有るようですので希望者は大津公民館へ申し込んで下さい。



## 人生は体験の積み重ねなり

人生はオギャーという一声の体験から始まり、一秒一秒一刻一刻が初めての体験であり、この積み重ねにより年を取るのだと思います。だから私達の一生の内には体で受ける嬉しいこと、悲しいこと、難儀なこと等時にふれ折りにふれ体験しなければなりません。この事を諸行無常とか、悲喜交々とかいわれているのですが、人生一代には幸せな体験に三回出会い、不幸な体験にも三回出会うと聞いております。とにも角にも身に受けた事はすべて確固の上の体験であると悟り、この体験を積み重ねる事に於いて人生が価値付けられるのではないのでしょうか。(奥)